

# うぐいす笛

太さの違う2種類のしの竹を削って、笛を作ります。  
「なた」と「のこぎり」を上手にを使って、自分だけの鳴き声の  
笛が出来ます。  
うぐいすの鳴き声をまねて鳴らしてみましょう。



## ねらいとして考えられるもの

- ・創造力、表現力を高める
- ・生活、文化を学ぶ

## 可能な活動場所

- ・ピロティ・車庫、避難所

所員の指導	対象	月	人数	所要時間	費用
指導可*1	4年生以上	通年	10~60人*2	2時間	50円

## 団体が準備するもの

軍手（滑り止めのあるもの）・筆記用具

## げんきプラザが準備するもの

しの竹・なた・のこぎり・小刀・セロテープ・作業マット

## 実施要領

### 導入

- ① 動機づけ
- ② 安全上の注意（下記「留意点」参照）

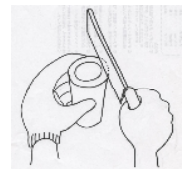
### 準備（1作業台 2~3人程度）

- ① 作業台を準備する。
- ② なた・のこぎりは2人で1本、しの竹（太1本、細1本）、作業マット人数分
- ③ 道具は説明後に配布するので、説明作業台の上に準備。

### 実施

- ① 太い方の竹の一面をなたで平らに削る。この時、削りすぎないように注意する。  
また、平らな面は出来るだけなめらかにしておくのが望ましい。
- ② 平らな面の中心付近に、約5mmの穴を開ける。小刀の先を刺し刃を回すことにより調整を行う。
- ③ 細い竹の端1.5cmの所から端に向かって斜めにのこぎりで切る。この時には、角度が大きくなりすぎないように注意する。（下図参照）この面も出来るだけ平らであることが望ましい。
- ④ 細い竹の切った部分を、穴の近くに置き、細い竹の方から息を吹き込む。  
音の出る場所は各々違うため、前後にずらしながら調整する。
- ⑤ どうしても音が出ない時には、  
ア 太い竹にあけた穴を少し大きくする  
イ 空気がもれないように接地面を平らにする。  
ウ 細い竹の反対側で、角度を変えて削り直してみる

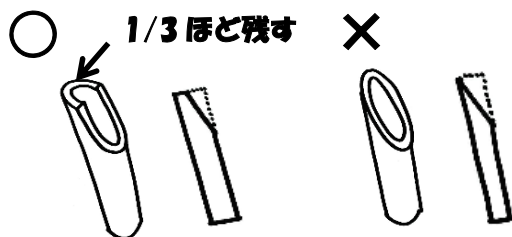
①



②



③



④



### 片付け

- ① 道具類は入っていたケースに入れ、あった状態に戻す。
- ② 使用した作業台を元あった場所に戻す。
- ③ 下に落ちた木くずやゴミを掃き掃除する。ゴミは掃除用具入れ脇のペール缶へ。

### まとめ

- ・ふりかえり
- ・下記参照

### 留意点

- ① 刃物等、怪我をする道具を使用します。正しい使い方を守って作業して下さい。
- ②なたを使用する際は、利き手でない方の手に軍手を2枚重ねてはめます。なたは振り上げると危険です。割るときには利き手でないほうの手を離してください。
- ③ 材料（竹）を押さえる手に軍手を装着し、道具は素手で持つようにしましょう。
- ④ 後片付けはみんなで協力し、次の団体にも気持ちよく作業をしてもらえるようにしましょう。

### 指導のポイント・展開のアイデア

- ・鳴らない時は、空気がもれていないか、穴が小さすぎないか、細い竹の角度はどうか、など色々な理由が考えられます。そこを今一度修正すると、ほとんどが鳴るようになります。
- ・誰が上手にうぐいすのまね音ができるか、挑戦してみましよう。
- ・身近にはどんな竹製品があるのかを考えてみましよう。
- ・なぜ、音が出るのか考えてみましよう。

\*1 指導可能時間は9:15～11:45 13:00～17:00です。指導希望団体が重なる場合等、ご要望に添えない場合や、団体指導者をお願いすることがあります。

\*2 60人を超える場合は、2班に分けて実施したり、交代で実施していただく場合もあります。